

CASE
34有限会社
トータルカーショップ・
シコクボデー自動車整備
業務支援メンテナンスドットシー
Maintenance.c会計処理
『会計王』改善分野▼作業管理 価格▼6,700円/月
導入の決め手▼钣金と整備の業務に適応したシステム改善分野▼会計、労務管理 価格▼12,000円/年
導入の決め手▼簡単な操作性

Before

部品が多いし
種類も違う…
見積が終わらないよ…車種によって部品数が多く、
種類も異なるので見積に時間がかかるまだまだこんなに
手書きしなきゃ…入金処理や帳簿の作成が手書きのため、
事務作業が大変

解決したい!!

課題
1

見積書や請求書作成の時間を短縮したい

全車種、全メーカーの部品はすべて把握することは不可能。見積する時に毎回メーカーに問い合わせ、金額も確認しないといけないので作業時間が増え、効率が悪い。

課題
2

入金処理や帳簿類の簡略化

創業から経理を担当している母が高齢になり、伝票や帳簿を手書きで作成しているのが少し不安に。データで管理して、数字を入力するだけなら母親の負担も減らせるはず。

課題
3

従来のシステムは unnecessary 機能が多い

30年前に導入したシステムはパッケージで販売されており、当社では使わない機能が数多く搭載されている。必要な機能だけ使いたい…。

高松市春日町にある有限会社トータルカーショップ・シコクボデーは、1972年に夫婦2人で自動車の钣金・塗装工場としてスタートしました。息子で現代代表取締役の鴨井輝人さんが、前職のディーラーで取得した整備士の資格を生かし、30年前から整備業も開始。現在は钣金と並ぶ事業の中心になっており、確かな技術と丁寧な対応で、お客さまに信頼されています。

事業を継いで一番大変だったのは事務処理。特に钣金は部品の点数や種類が多く、見積をするのも大変で、「作業後に見積書や請求書を書いていました」と鴨井さん。書類作成の時間を短縮するため、30年前に钣金と整備を網羅したシステムを導入。販売元のシステム変更とリリース期間の満了に伴い、今年4月から、データをクラウド上で管理する「Maintenance.c」に移行しました。また、これまで経理担当が手書きで行っていた会計処理や帳簿の作成もデータで管理できるように、会計ソフト「会計王」を購入し、事務作業の省力化にも成功。現在は二つのシステムをうまく使いこなし、仕事の効率も格段に上がりました。



有限会社トータルカーショップ・シコクボデー

〒761-0101 高松市春日町1639-10 TEL:087-841-1959

After

自動車整備業務支援

Maintenance.c

できる
こと

- ▶クラウド上で顧客・車両管理、伝票発行、申請書類を作成
- ▶必要な作業や部品を自動表示、点検漏れや交換忘れを防止
- ▶顧客情報や作業指示、追加作業を現場で確認、入力が可能



できる
こと

会計ソフト

会計王

- ▶業務に合わせて自分好みにカスタマイズ
- ▶月次の収支・残高などをリアルタイムで把握

顧客情報や作業指示、追加作業を現場で確認



入金以降の事務処理が省力化、従業員の負担軽減



効果を実感!!

経営者
comment

クラウド型に移行したことで、インターネット環境であれば、どこでも最新の在庫情報や作業指示が確認でき、とても便利になりました。現場でも常に最新の情報を共有できるので、作業の効率化にもつながっています。

効果
1

見積書、請求書の作成時間が大幅に短縮

部品や作業内容を入力するだけで、項目ごとに自動的に仕分けられ、金額も出てくるので、見積にかかる時間が大幅に短縮できた。

効果
2

自社好みにカスタマイズし、経費削減

システムの移行に伴い、自社に必要な機能だけを選択し、自社好みのカスタマイズ。不必要な機能を外したことで、リース料が安くなり経費削減に。

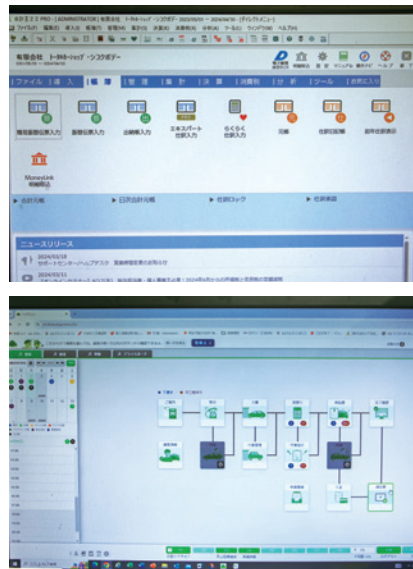
効果
3

会計処理を省力化、出退勤管理もスマホで対応

勘定項目の追加や編集が自由に設定でき、毎月の支払額が決まっているリース代なども登録しておくことで自動で集計。給与計算ソフト「給料王」も導入し、従業員の出退勤もスマホと連携させることで給与計算も楽に。



タブレットで作業内容を確認する社員



3年前には指定工場の認可を受け、自社で車検が行えるようになりました。今年の10月から、車検項目に従来の車検では発見できなかった電子制御装置の検査「OBD検査」が加わり、国産車は2021年10月1日以降、輸入車は22年10月1日以降の新型車に検査が義務付けられます。OBD検査には専用の機材が必要となり、自動車業界はその対応に追われています。

今や「走るパソコン」と化した自動車。デジタル機器の点検など、新たな対応が求められる中、「当社の強みは钣金。長年培った技術で、どんな車でもきれいに直します」と自信を持つ鴨井さん。「今後は自社の技術を生かして、事故車を元通りに直して販売していきたい。事故車を避ける人もいますが、需要もあります。今は納車まで数か月待ちが当たり前の時代。SDGSにもつながると思います」と熱く語ってくれました。